



ライフテクノロジーズ 技術セミナーのご案内

「筑波大学遺伝子実験センター形質転換デザイン研究拠点 テクニカルセミナー(2)」

日時 2010年 6月2日(水曜日) 13:30~14:45(質疑応答15分)

場所 遺伝子実験センターセミナー室

「ライフテクノロジーズ リアルタイムPCRの原理と多様なアプリケーション」

1996年に弊社は世界に先駆けて、リアルタイムPCR装置「ABI PRISM® 7700 Sequence Detection System」を発売させていただきました。当時は発現定量がほぼ唯一のアプリケーションでありましたが、それから約15年を経ることで様々なアプリケーションが開発されております。定量的アプリケーションではタンパク質をコードするmRNAの他に、近年注目されているnon-coding RNAの一種であるmicroRNAの発現定量が盛んに行われ、定性的アプリケーションではSNPジェノタイピングのほか、High Resolution Melting (HRM)による新規変異の探索等が行われています。また最新のアプリケーションとしてはタンパク質を検出するTaqMan® Protein Expression Assayも開発されています。

今回のセミナーでは、リアルタイムPCRの基本原理および実験系確立のポイントから、多様なアプリケーションのご紹介をさせていただきます。



Applied Biosystems 7900HT

Fast リアルタイム PCR システム

センター内連絡先： 小口（内線 7726）